

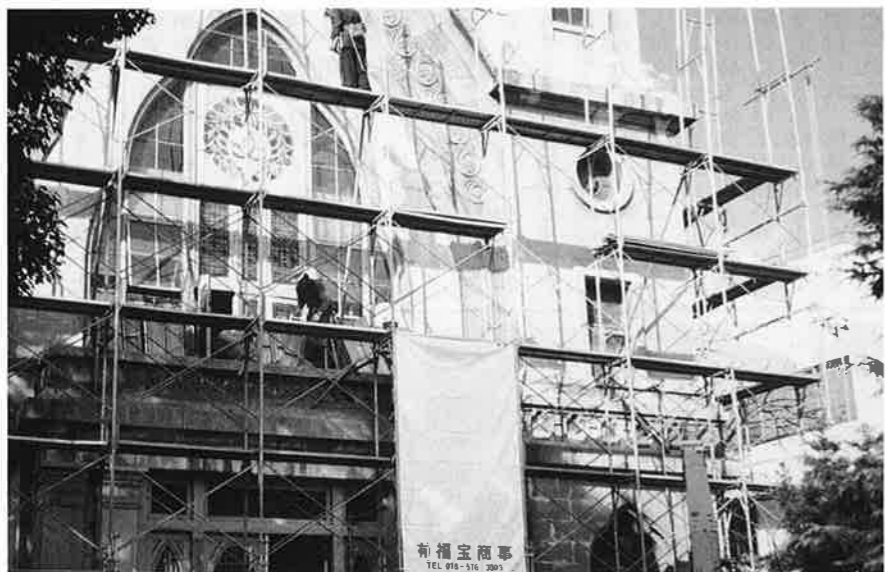
HO YOG

教区新報

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6-3-1
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1994. 1. 75号



解体に向けて足場を組む作業が進む本堂

一月一日、午前七時半から、恒例の別院元旦会が加納町の仮本堂で勤められ、納年のように門信徒が参拝して、龍谷盃に注がれた清酒で乾杯し、新年のあいさつをかわした。

土基輪番は年頭のあいさつで「阿弥陀如来さまのお慈悲のまっただなかで、お互いにこうして平成六年の新年を迎えさせてくださいました。皆様あげましておめでとございます。」年

年歳歳花相似たり、歳歳年人同じからず。こういう言葉がございませう。年々歳歳花相似たり、今年もまたきれいな花が美しく同じように咲きつれども、人は昨年と同じでない。こういう

モダン寺「建築へ歩む年」

解体進み3月上旬に起工

「新しい年を迎えさせていただき、またこの一年を記念仏の生活の中で過ごさせていっていただくという、心の方向を定め、本日より又、力強く歩みを始めさせていただきます」と述べた。

また、本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、建設工事についても「別院は、ともにおみのりを聞かせていただく聴聞の場としての別院、そしてまたおみのりを喜びあい伝えあっている場としての働きを持った別院を願って、今建設を進めさせていただいております(二面へ続く)

人生五十年、あるいは八十年、長くても百年あまり。大統領だつて、したり顔の霊能者だつて、もちろん、わたしだつて例外ではありません。新しい年をむかえて一刻と「お浄土」の門に近づきつつあります。◆そんな中、平成五年十一月十八日から十九日の両日は、即如門主の水上西組組長。早朝よりはげしい雨が降りつづき、今日一日どうなることかとハラハラ。しかし、ご門主が福知山駅に到着されるやいなや雨もやんで、穴の浦峠から一路丹波路へ◆早くから日程は分かっていたがいざ近づくと、ありのままでお迎えすることはい言いかたされてはいたものの緊張の連続でした。帰敬式、式典、法座A法座Bも終了して、組の現状、自坊の現状を赤裸々に話し合ったが、◆こんな組もあるんだなと、どれほど認識していただいたことか。ご門主の胸中や如何に?あれやこれやで忙しい二日間でした。何はともあれ終わって一息。門徒一同感激の二日間でした。(中尾教雄)



憑

教区だより 1・2月		
14日(金)~16日(日)	別院常例法座 山崎一朗師	1時半
19日(水)	仏婦連盟新年委員総会	1時半
20日(木)	別院仏婦報恩講	1時半
21日(金)	ビハーラ推進部会 ビハーラ兵庫役員会	1時 2時半
23日(日)	門徒推進員研修会	姫路西組光瑞寺
27日(木)	寺婦連盟新年委員総会	11時
30日(日)~31日(月)	仏壮幹部研修会	龍野
2月1日(火)	企画推進室会	1時半
2日(水)	青年僧侶の会役員会	5時
4日(金)	近畿同朋運動推進協議会会員研修会	津村別院
5日(土)	第一土曜仏教講座 寺澤 忍師 ビハーラ活動全国集会	1時半 本山
6日(日)	永代経開關法要	大谷本廟
7日(月)	如月忌法要 少年連盟役員会	本山 3時
14日(月)~16日(水)	別院常例法座 光森宣明師	1時半



本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、建設工事の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。

現況
12/15~17日
・本堂の仏具解体作業
25日
・近隣自治会からの要望書に対する回答書提出
28日まで
・庫裏、本堂の内装解体足場架け

予定
1/5~10日ごろ
・スロープ、ゲート、仮囲い設置
・書院上家解体
・本堂内部保存物撤去、内装解体、足場架けシート張り
1/24日ごろから
・本堂躯体解体
3月
・起工式
建設費志進納総額
七億八千八百八十六万六千六百九十九円
('93年11月30日現在)

敬 弔

志水清正師(しみず・せいしゅう) 六粟組西光寺衆徒。十二月八日、七十才で往生。葬儀は十二月十一日「徳院釋清正」。

西田穂龍師(にしだ・おんりゅう) 氷上東組本光寺住職。十二月十五日、七十才で往生。葬儀は十二月十七日、本光寺で。「慈教院釋穂龍」。

昭和十六年から任職在職五十二年。

神子上千代さん(みこがみ・ちよ) 掛籠東組福専寺坊守。十二月二十日、七十二才で往生。葬儀は十二月二十三日、福専寺で。「圓乘院釋光壽」。

吉田きみゑさん(よしだ・きみえ) 北摂組元焰寺衆徒。十二月二十五日、八十五才で往生。葬儀は十二月二十九日。「浄念院釋尼静遊」。

赤松真雄師(あかまつ・しんゆう) 赤穂北組光専寺前任職。十二月二十六日、九十才で往生。葬儀は十二月二十八日、光専寺で。「清浄院釋真雄」。

昭和四年から同五十五年まで任職在職五十二年。この間、昭和三十一年から同四十四年まで組長を務めた。

豊原峰子さん(とよはら・みねこ) 阪神西組西福寺前坊守。十二月三十一日、八十六才で往生。葬儀は一月四日、西福寺で。「芳順院釋尼秀峰」。

新職員に長尾氏
一月八日付けで、新しく長尾真(ながお・まこと)氏が別院堂掌・教務所書記補として入所。昭和四十三年生まれ。
「新しくなるモダン寺とともにがんばります。」
また、三年余り勤務いただいた用務の中西笑子さんが、十二月二十八日付けで退職した。

